

検問所“て一時混乱

10日 機動隊が出動、13人逮捕

既報の通り十月からの神田地区の最終学年の授業再開にあたり、大学当局は使用教室を駿河台本校五・六・七号館(大学院生は大学統)とし、六・七号館に駅の改札口ばりの検問所を設け、教職員が学生証のチェック体制を敷き機動隊の待機を要請するなど万全の備えでこれにあたった。

十日午前八時すぎ、七号館入口で職員が学生証の検分を始めると登校してきた学生がバラバラと入構していった。

授業再開粉砕を叫ぶ全共闘派学生もこの頃かき入り出し、約一〇〇名近くに達した。午前九時、七号館検問所で集会を開く全共闘派学生

時ころ、検問所のすぐ前で集会を開き始めるとまたたきまに人垣ができた。しかし警察して来た学生に授業ポイコットのじこを断る程度で、入構の努力阻止の構えはみせなかった。

人垣の後方で、五月ぶりの再集会を単純に宣言する学生。活動家のさし出したじこを無言で拒否し、集会を毛嫌いするものも少なくない。その反応はさまざまだったが多くの学生は大学院棟と学館傍の歩道から、この集会を遠巻きにながめていた。

全共闘の横谷優一君が「われわれは何も悪いことをしていないのではない。この学生証検問所を取り除いてくれませんか」と訴

だ。そして誰でも入れることが出来るように要求して来たのだ」と訴えた。

九時三十分、前方にいた学生がすわり込みを始めた。これを含図に遠巻きに待機していた機動隊が排除にかかった。「すわれ・すわれ」「スクラムを組め」と学生の声。しかし機動隊約二〇人は、座り込みの学生約三〇人を離れず排除し「歩道だから立ち止まるな」という理由で、六号館方面へ規制していった。

その間、空砲発射となった検問所へ学生が押しかけたが勢いに押されて職員が七号館側をかわってシャット・アウトした。これに怒った学生が検問所を足で蹴るなど暴しにかかると直ちに機動隊



員が規制にかかり学生数人を逮捕した。この光景を「わがわ見つめる一般学生に、大学のマイクが「七号館入口を閉鎖します、六号館にお回り下さい」と告げた。

そろそろと学生が六号館に向かったが、全共闘派学生も六号館検問所で集会を開いたため入口は開かれなかった。

そのため、また「七号館を開きます」のアナウンスがあった。一般学生は学生証を提示して、続々と入構した。

全共闘の集会はそのまま続けられたが、「四年はガイダンスを中止する闘いを展開すべく教室に入る。残りは各闘争委で統括し、午後三時にお茶の水公園に集まる」という報告と午後十時三十分集会は終了した。

五・六・七号館の教室では各学部クラス別のガイダンスがあり、大学側からこれまでの経過、これからの改革などの話があり、改革準備委員会が提出した改革案を学生に配布した。

また、集中力以キレムについて説明の後、学生との質疑応答がなされたが、講義内では物理的な混乱はなかった。

なお、この威力業務妨害などの逮捕者は十三人で、このうち横谷全共闘代表者、横谷の兄口成一、全明全共闘代表者が含まれている。対策本部は午後八時、十日登校した最終学年の学生数は一部(短大を含む)約三三〇〇名、二部が四八〇名、計三九八〇名で全体(八五三三名)の約四七%である。十一日は一部が二〇二六名、二部が四五三名、計二四七九名で全体の約二九%。